







第1期さくら市まち・ひと・しごと創生総合戦略
重要業績評価指標（KPI） 進捗状況一覧





■進捗状況の評価基準

| | |
|--|------------------------|
|  | 成果は順調で目標を達成しているもの |
|  | 成果は上がっているが目標は達成していないもの |
|  | 成果が下がっているもの |





●基本目標1：地域産業を活性化させ、安定した仕事を創出する

| KPI (重要業績評価指標) | 基準値(策定時) | 実績値 | 目標値 | 進捗状況 | 計画期間(H27~R2)における分析・評価 |
|-------------------|----------|----------------|---------|---|--|
| | H26 | R2 | R2 | | |
| ①就業者数 | 18,248人 | 19,577人 | 19,500人 |  | 順調に推移したものの、全国的に生産年齢人口(15~64歳)が減少し、老年人口(65歳~)が増加する傾向であり、今後、若年層の労働力確保が課題となる。 |
| ②新規創業者数 | — | 累計28人 | 累計23人 |  | 国において認定された創業支援事業が開始され、両商工会、市及び栃木県産業振興センターが連携し、相談窓口設置等による支援体制の整備が図られたことにより、順調に推移したと考えられる。 |
| ③新規就農者数 | 5人 | 4人 | 毎年13人 |  | 各種補助事業の拡充や周知により、新規就農者の増加傾向が見受けられたが近年は減少傾向。コロナ禍において、就農相談が増加していることから、より一層の周知と魅力発信が求められる。 |




●基本目標2：定住人口・交流人口を増やす

| KPI (重要業績評価指標) | 基準値(策定時) | 実績値 | 目標値 | 進捗状況 | 計画期間(H27~R2)における分析・評価 |
|-------------------|----------|-------------------|------------|---|---|
| | H26 | R2 | R2 | | |
| ①転入超過数 | 3人 | 28人 | 24人 |  | 住宅開発や企業誘致等により、低調ながらも一定の増加傾向を保っている。また、県内市町からの転入超過が見受けられる反面、県外への転出超過傾向が続いており、コロナ禍における郊外志向の高まりを取り込んだ定住人口増加に向けた取組みの推進が必要と考えられる。 |
| ②年間観光入込客数 | 700,428人 | 1,315,739人 | 1,900,000人 |  | 道の駅きつれがわのりリニューアルオープンやさくらテラス新設による新規イベント等の実施により、順調に推移してきたが、コロナ禍により大幅に減少した。 |
| ③ホームページアクセス数 | 671,491回 | 1,016,709回 | 740,000回 |  | 市内イベントの情報発信や移住促進ホームページでの移住関連情報の充実等により、一定数のアクセス数を確保。今後、アフターコロナでも、HPの閲覧から観光客入れ込み数の増加につながるような取組みが必要となる。 |
| ④民間開発による供給区画数 | 33区画 | 累計272区画 | 累計232区画 |  | 交通や買物等の立地条件に恵まれた大野地区を中心として宅地分譲が増加したことにより順調に推移した。今後、市内外からの住民の住まい確保のため、民間開発・住宅開発の支援を検討する。 |

●基本目標3：結婚・出産の希望をかなえ子育てと教育の支援を充実させる

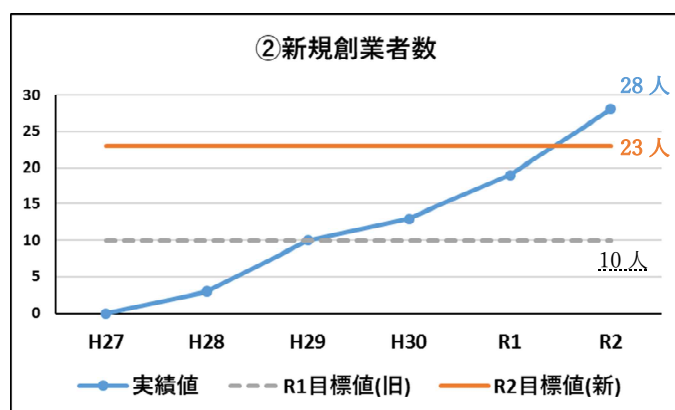
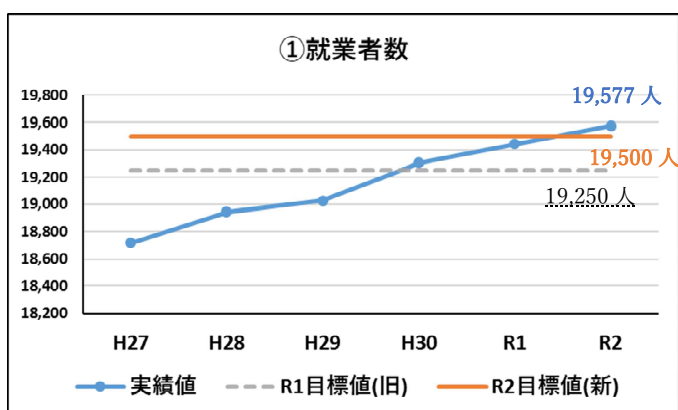
| KPI (重要業績評価指標) | 基準値(策定時) | 実績値 | 目標値 | 進捗状況 | 計画期間(H27~R2)における分析・評価 |
|-------------------------------|----------|---------------------|--------|---|---|
| | H26 | R2 | R2 | | |
| ①出生数 | 416人 | 350人 (概数) | 毎年416人 |  | 子育て支援策の充実に向け様々な事業を実施しており、増加と減少を繰り返しているが、減少傾向に歯止めがきかない状況。一方で、合計特殊出生率は県内では高水準を保っており、少子高齢化により出産可能な年代そのものが減少するという社会的要因に対して、新たな取組の検討が必要と考えられる。 |
| ②婚姻数 | 216件 | 152件 (概数) | 毎年220件 |  | 婚活イベントの実施やとちぎ結婚支援センター登録補助制度の開始により、一定の婚姻数を保ってきたが、コロナ禍により大幅に減少した。さらには全国的に未婚化や晩婚化が進んでおり、新たに創設された結婚新生活支援補助金を活用した改善等が望まれる。 |
| ③子育て支援サービスや環境が充実していると思う保護者の割合 | 80.1% | 86.4% | 83.0% |  | 児童医療費助成の18歳までの適用などの子育て支援サービスや保育施設整備による待機児童ゼロの実現等により、順調に推移したのと考えられる。今後も住民ニーズに応じた子育て支援策の実施を検討する。 |
| ④基礎的な学力が身につけている生徒の割合 | 71.9% | 69.0% | 75.0% |  | 当該年度の学年によって学力にも波があるため、単純に前年度との比較だけでは評価しづらい面があるが、T.T(ティーム・ティーチング)の実施等により徐々に成果が表れてきており、継続した取組みが必要と考える。 |

●基本目標4：地域での確かな暮らしを確保する

| KPI (重要業績評価指標) | 基準値(策定時) | 実績値 | 目標値 | 進捗状況 | 計画期間(H27~R2)における分析・評価 |
|-------------------|----------|--------------|-------|---|---|
| | H26 | R2 | R2 | | |
| ①住みよいと思う市民割合 | 75.4% | 80.1% | 80.0% |  | 様々な施策や事業に対する結果や社会情勢に影響される面があるため、評価しづらいが、住み続けたい理由として、「買物等の日常生活の利便性」や「自然の豊かさ」が評価されている。さらにコロナ禍においては郊外での生活が見直され、住みよさにつながっているものと考えられる。 |
| ②地域協議会(小さな拠点)の数 | 0地区 | 累計0地区 | 累計3地区 |  | 河戸地区を中心に住民ヒアリング、ワークショップ、住民交流イベント、補助金制度創設等を実施。コロナ禍により一時事業が停滞したことにより、計画期間内の設立には至らなかったがR3年度には設立済。 |
| ③公共交通に満足している市民割合 | 60.4% | 61.8% | 70.0% |  | フィオーレ線の路線変更、うのはな号の運行区域拡大、つういんコンタ号の運行開始等により、市民満足度は若干向上。計画期間中には、地域公共交通網形成計画を策定しており、本計画に基づきさらなる公共交通の充実を図る。 |

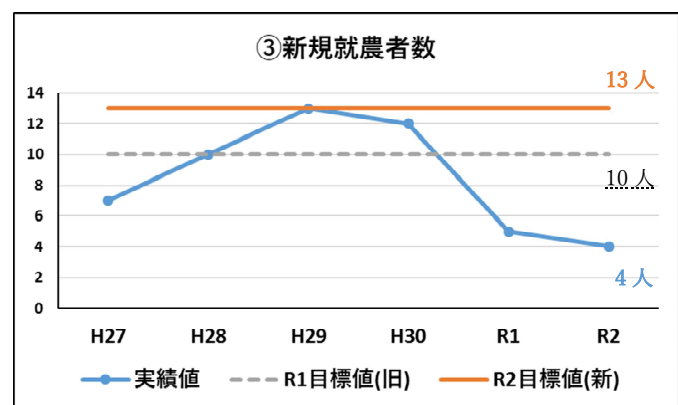
基本目標 1：地域産業を活性化させ、安定した仕事を創出する

| KPI (重要業績評価指標) | 基準値 | 実績値 | | | | | | 目標値 | 進捗状況 |
|-------------------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|------|
| | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 | R2 | |
| ①就業者数 | 18,248人 | 18,716人 | 18,945人 | 19,027人 | 19,303人 | 19,443人 | 19,577人 | 19,500人 | ☀️ |
| ②新規創業者数 | — | 0人 | 累計3人 | 累計10人 | 累計13人 | 累計19人 | 累計28人 | 累計23人 | ☀️ |
| ③新規就農者数 | 5人 | 7人 | 10人 | 13人 | 12人 | 5人 | 4人 | 毎年13人 | ☔️ |



取得方法：個人市民税の納税者数（税務課調べ）
課税状況調査の納税義務者のうち、給与所得者、
営業等所得者及び農業所得者数
(その他所得者、家屋敷等のみを除く)

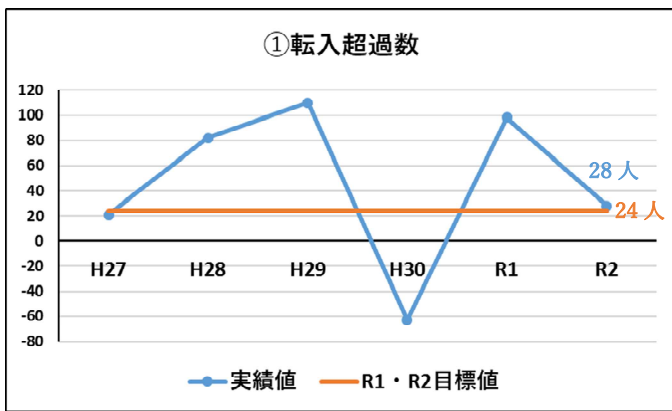
取得方法：担当課確認（商工観光課調べ）
H28 創業支援計画に基づく支援（セミナー、
相談、融資、補助等）を活用し創業した者の数



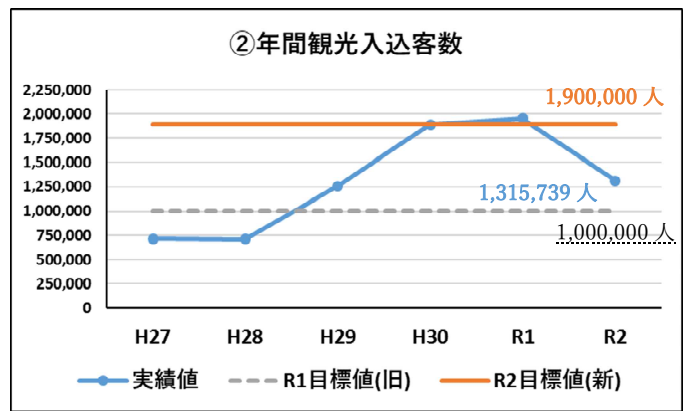
取得方法：担当課確認（農政課調べ）
冊子「塩谷南那須地方の農業農村」の新規就農者
調査

基本目標 2：定住人口・交流人口を増やす

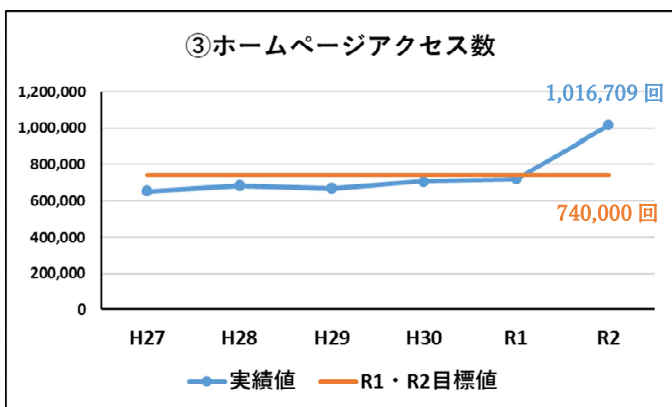
| KPI (重要業績評価指標) | 基準値 | 実績値 | | | | | | 目標値 | 進捗状況 |
|-------------------|----------|----------|----------|------------|------------|------------|------------|------------|------|
| | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 | R2 | |
| 転入超過数 | 3人 | 21人 | 82人 | 110人 | ▲63人 | 98人 | 28人 | 24人 | ☀️ |
| 年間観光入込客数 | 700,428人 | 714,311人 | 711,756人 | 1,257,772人 | 1,895,294人 | 1,954,537人 | 1,315,739人 | 1,900,000人 | ☁️ |
| ホームページアクセス数 | 671,491回 | 654,556回 | 683,875回 | 667,794回 | 705,566回 | 718,911回 | 1,016,709回 | 740,000回 | ☀️ |
| 民間開発による供給区画数 | 33区画 | 52区画 | 累計133区画 | 累計148区画 | 累計192区画 | 累計248区画 | 累計272区画 | 累計232区画 | ☀️ |



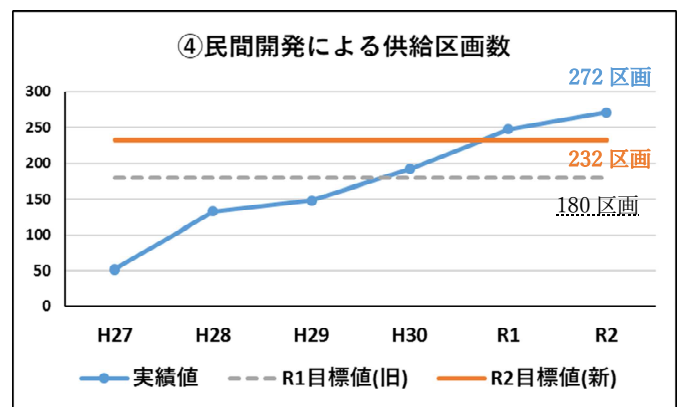
取得方法：栃木県毎月人口調査（総合政策課調べ）
前年10月から当年9月1日までの社会増減



取得方法：担当課確認（商工観光課調べ）
当年1月～12月の観光入込数・宿泊推定調査



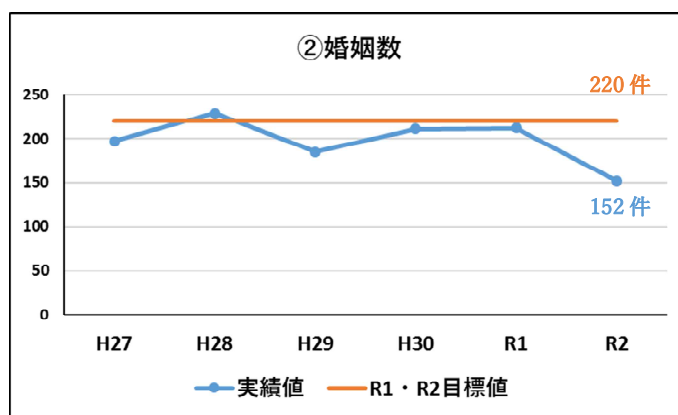
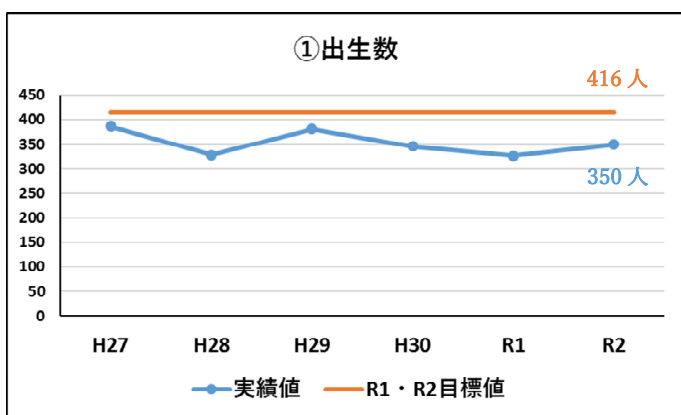
取得方法：担当課確認（総合政策課調べ）
市のメインHP+移住促進HPのアクセス数



取得方法：民間開発による供給区画数（都市整備課調べ）
新規に宅地開発（1,000㎡以上）された分譲地

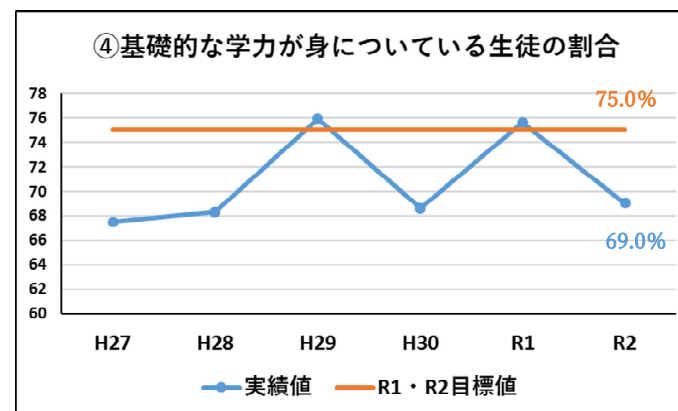
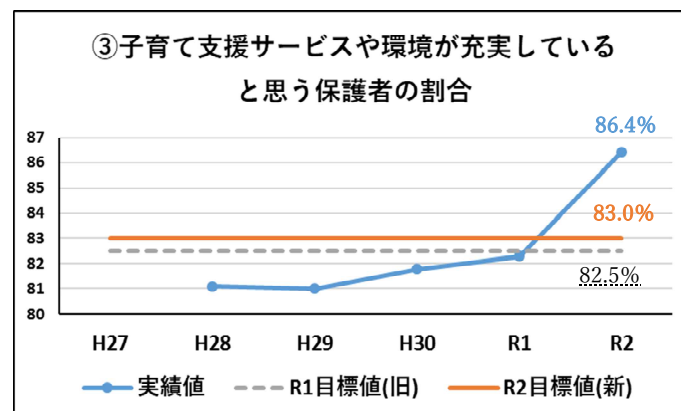
基本目標3：結婚・出産の希望をかなえ、子育てと教育の支援を充実させる

| KPI (重要業績評価指標) | 現状値 | 実績値 | | | | | | 目標値 | 進捗状況 |
|------------------------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|------|
| | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 | R2 | |
| 出生数 | 416人 | 387人 | 329人 | 381人 | 346人 | 327人 | 350人 | 毎年416人 | ☔ |
| 婚姻数 | 216件 | 197件 | 229件 | 185件 | 211件 | 212件 | 152件 | 毎年220件 | ☔ |
| 子育て支援サービスや環境が充実していると思う保護者の割合 | 80.1% | — | 81.1% | 81.0% | 81.8% | 82.3% | 86.4% | 83.0% | ☀️ |
| 基礎的な学力が身につけている生徒の割合 | 71.9% | 67.5% | 68.3% | 75.9% | 68.6% | 75.6% | 69.0% | 75.0% | ☔ |



取得方法：栃木県人口動態統計（こども政策課調べ）人/年
 栃木県人口動態統計（確定版）の概況
 ※R2のみ概数

取得方法：栃木県人口動態統計（総合政策課調べ）人/年
 栃木県人口動態統計（確定版）の概況
 ※R2のみ概数

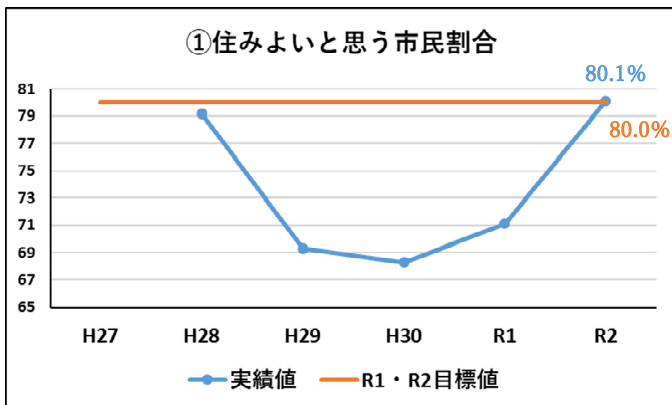


取得方法：市民アンケート（こども政策課調べ）
 問「あなたは、さくら市が子どもを安心して生み育てることのできる環境が整っていると思いますか。」

取得方法：担当課確認（学校教育課調べ）
 中学校3年生を対象に、全生徒数に占める指導要録の評定全教科の評定が3以上である生徒数の割合。

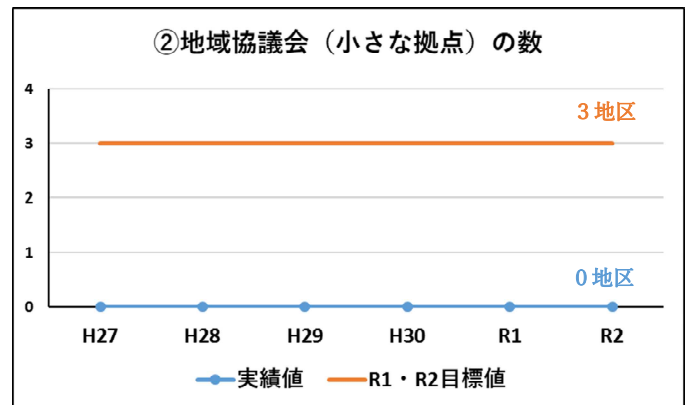
基本目標 4：地域での確かな暮らしを確保する

| KPI (重要業績評価指標) | 基準値 | 実績値 | | | | | | 目標値 | 進捗状況 |
|-------------------|-------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|------|
| | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 | R2 | |
| 住みよいと思う市民割合 | 75.4% | — | 79.2% | 69.3% | 68.3% | 71.1% | 80.1% | 80.0% | |
| 地域協議会（小さな拠点）の数 | 0 地区 | 累計 0 地区 | 累計 0 地区 | 累計 0 地区 | 累計 0 地区 | 累計 0 地区 | 累計 0 地区 | 累計 3 地区 | |
| 公共交通に満足している市民割合 | 60.4% | — | 58.6% | 57.2% | 57.7% | 54.7% | 61.8% | 70.0% | |



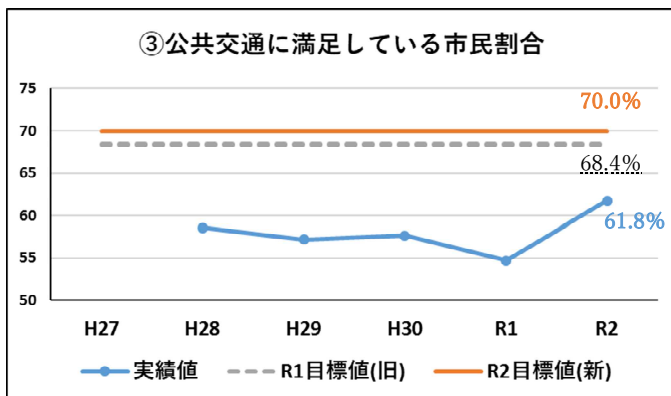
取得方法：市民アンケート（総合政策課調べ）

問「あなたはさくら市が「住みよいまち」だと思いますか。」



取得方法：担当課確認（総合政策課調べ）

地域協議会として設立した団体の数



取得方法：市民アンケート（総合政策課調べ）

問「さくら市の公共交通（鉄道・バス・乗合タクシー）の満足度についてお聞かせください。

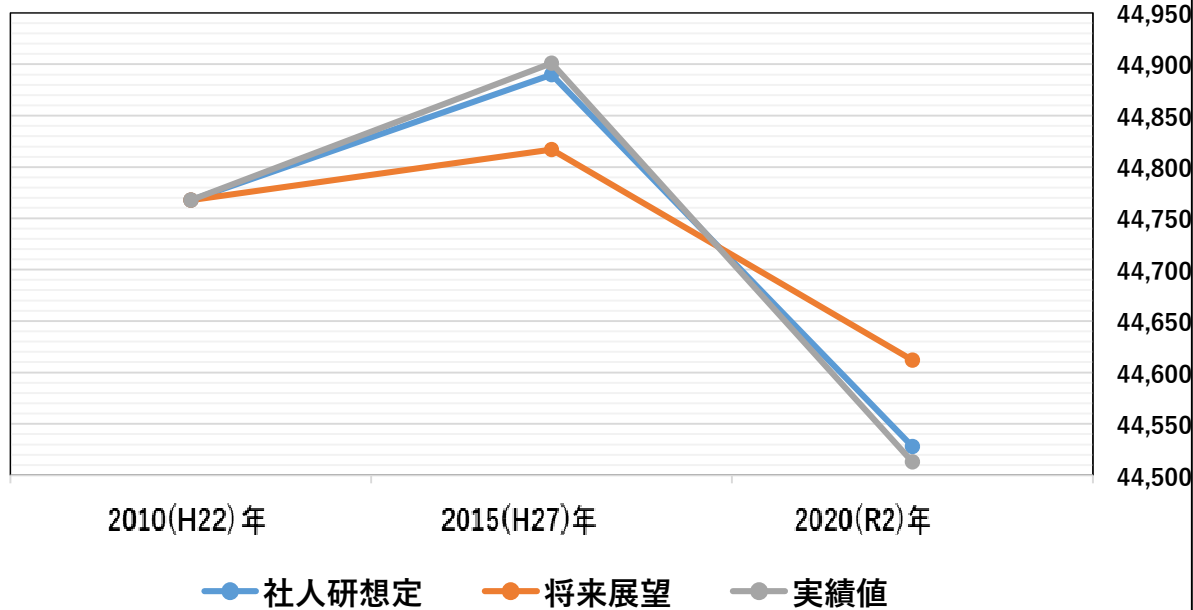
【1】鉄道 【2】バス 【3】乗合タクシー

第1期さくら市まち・ひと・しごと創生総合戦略のまとめ

R4.1.18 議員全員協議会
総合政策課 資料No.2

さくら市の人口推移

(人)



| | 2010年 | 2015年 | 2020年 |
|-------|--------|--------|--------|
| 社人研想定 | 44,768 | 44,890 | 44,528 |
| 将来展望 | 44,768 | 44,817 | 44,612 |
| 実績値 | 44,768 | 44,901 | 44,513 |

出典：国勢調査
(各年10月1日現在)

○第1期総合戦略では、国の総合戦略に則して4つの基本目標を掲げ、①「地域産業を活性化させ、安定した仕事を創出する」、②「定住人口・交流人口を増やす」、③「結婚・出産の希望をかなえ子育てと教育の支援を充実させる」、④「地域での確かな暮らしを確保する」に対してそれぞれKPI（重要業績評価指標）を設定。

○基本目標①・②・④については概ね順調に推移したが、基本目標③は数値が悪化。

○市人口は、第1期総合戦略における『将来展望』及び『社人研想定』を下回るペースで推移している。

➡要因として、「社会人口の増加数の鈍化」や「自然人口の減少」が関係していると考えられる。

喜連川少年院改修工事に伴い、施設関係者が転出したこと等が影響を及ぼしていると推測。